※令和４年度以降入学生用

学校番号	323

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）古典演習 （文系・ｅコース）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	大学入学共通テスト　古文漢文編（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

上代から近世までのさまざまな古文と、実践演習としてのさまざまな漢文を、的確に理解する能力を高める。
授業にしっかりと取り組む。
授業中の取り組みは、各自が自分の考えた答えを決められた時間内に解答する。
提示されたものを機械的に書き写すのではなく理解を深めながら書く。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
読解に必要な語彙と文法が理解できている。

【思考力、判断力、表現力等】
文章を的確に理解し、登場人物の心情や筆者の主張が理解できる。

【学びに向かう力、人間性等】
さまざまな文章にふれ、古典文化や現代にも通ずる点について積極的に理解しようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	問題演習を通じて古文の文法力、語彙力、読解力の基礎 ［教材］ 古文第1･2･3･4回	a：文法や語彙を理解･学習したうえで、本文の内容を理解する。 b［ 読 ］：文法や語彙を理解したうえで、設問の意図と内容を理解する。 c：時代背景や文化を調べ、本文と設問を理解･考察することで、登場人物の思想や感情を考察し、自分のものの見方や古典に対する造詣を深める努力をする。	成果物の提出 定期考査	発問評価 指名音読 定期考査	授業態度 成果物の提出
	問題演習を通じて漢文の句法、語彙力、読解力の基礎 ［教材］ 漢文第1･2･3･4回	a：句法や語彙を理解･学習したうえで、本文の内容を理解する。 b［ 読 ］：句法や語彙を理解したうえで、設問の意図と内容を理解する。 c：時代背景や文化を調べ、本文と設問を理解･考察することで、登場人物の思想や感情を考察し、自分のものの見方や古典に対する造詣を深める努力をする。	成果物の提出 定期考査	発問評価 指名音読 定期考査	授業態度 成果物の提出
二学期	問題演習を通じて古文の文法力、語彙力、読解力の標準 ［教材］ 古文第5･6･7･8回	a：文法や語彙を理解･学習したうえで、本文の内容を理解する。 b［ 読 ］：文法や語彙を理解したうえで、設問の意図と内容を理解する。 c：時代背景や文化を調べ、本文と設問を理解･考察することで、登場人物の思想や感情を考察し、自分のものの見方や古典に対する造詣を深める努力をする。	成果物の提出 定期考査	発問評価 指名音読 定期考査	授業態度 成果物の提出
	問題演習を通じて漢文の句法、語彙力、読解力の標準 ［教材］ 漢文第5･6･7･8回	a：句法や語彙を理解･学習したうえで、本文の内容を理解する。 b［ 読 ］：句法や語彙を理解したうえで、設問の意図と内容を理解する。 c：時代背景や文化を調べ、本文と設問を理解･考察することで、登場人物の思想や感情を考察し、自分のものの見方や古典に対する造詣を深める努力をする。	成果物の提出 定期考査	発問評価 指名音読 定期考査	授業態度 成果物の提出
三学期	問題演習を通じて古文の文法力、語彙力、読解力の発展 ［教材］ 古文第9･10回	a：文法や語彙を理解･学習したうえで、本文の内容を理解する。 b［ 読 ］：文法や語彙を理解したうえで、設問の意図と内容を理解する。 c：時代背景や文化を調べ、本文と設問を理解･考察することで、登場人物の思想や感情を考察し、自分のものの見方や古典に対する造詣を深める努力をする。	成果物の提出	発問評価 指名音読	授業態度 成果物の提出
	問題演習を通じて漢文の句法、語彙力、読解力の発展 ［教材］ 漢文第9･10回	a：句法や語彙を理解･学習したうえで、本文の内容を理解する。 b［ 読 ］：句法や語彙を理解したうえで、設問の意図と内容を理解する。 c：時代背景や文化を調べ、本文と設問を理解･考察することで、登場人物の思想や感情を考察し、自分のものの見方や古典に対する造詣を深める努力をする。	成果物の提出	発問評価 指名音読	授業態度 成果物の提出

４　学習の活動

※令和４年度以降入学生用
※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度
※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。
※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　１０　　）時間
・書くこと　　…　（　　２０　　）時間
・読むこと　　…　（　　４０　　）時間